

経営比較分析表（平成30年度決算）

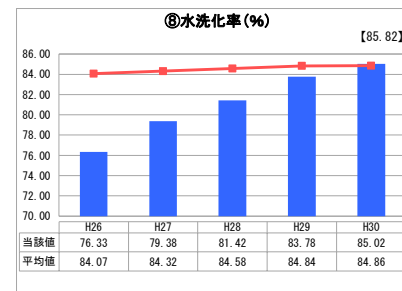
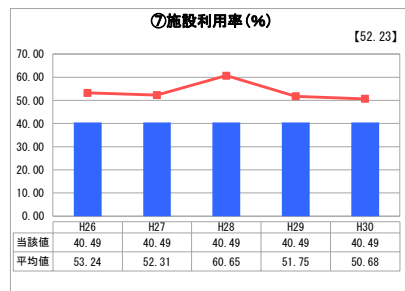
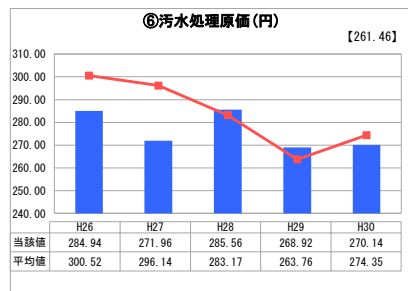
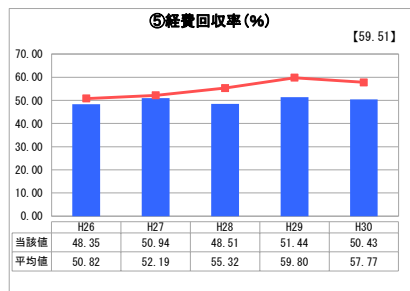
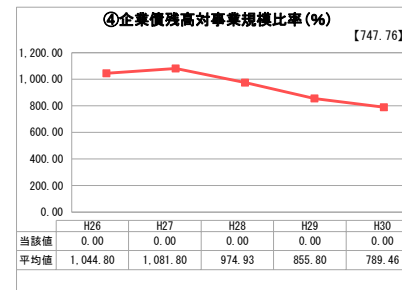
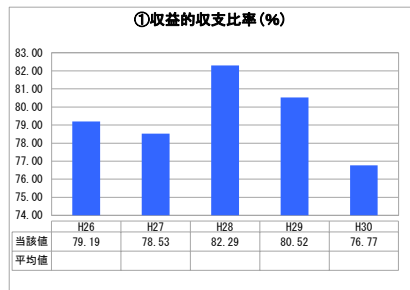
茨城県 かすみがうら市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	17.27	82.15	2,480

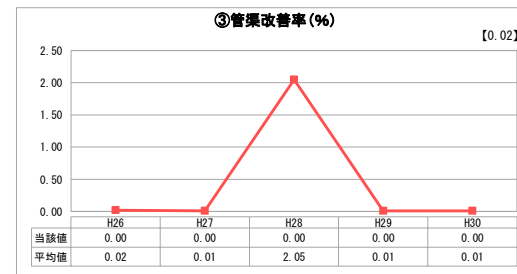
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
42,193	156.60	269.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,264	5.88	1,235.37

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益の収支比率
総費用は毎年同等額を推移しており、収支比率は80%前後で推移しています。今後も経費削減など収支比率の改善に努めます。
- ④企業債残高対事業規模比率
使用料で賄えない起債の償還財源の部分を一般会計繰入金行っていることから0%の比率となっています。実際の起債残高は少しずつ減少しており、今後も、計画的に起債を行っていきます。
- ⑤経費回収率
使用料収入が横ばい状態に対し、施設の修繕費用が年々増加しておりますが、率は概ね50%前後を推移しております。費用の計画的運用に努めてまいります。
- ⑥汚水処理原価
汚水処理費用の減少に伴い、やや減少し類似団体平均値程度になっておりますが、概ね横ばいの状況です。今後は老朽化に伴う修繕が見込まれ、計画的に修繕を行ってまいります。
- ⑦施設利用率
類似団体平均より下回っている状況であり、処理能力に対し余裕があるため加入促進等行い有効に施設運用に努めます。
- ⑧水洗化率
少しずつ上昇しており類似団体平均値を上回っており、今後も引き続き加入促進を行い、接続率を上げていきます。

2. 老朽化の状況について

- ③平成3年の整備開始後27年が経過し少しずつ老朽化が進んでいるが、耐用年数を超えた管渠はないことから、緊急的な箇所について更新を行っているところであり、現在は、ストックマネジメント策定に向けて調査を行っているところであり、策定後は、計画に基づき長期的に老朽管の対策等を行ってまいります。

全体総括

全体の数値を見ると、類似団体と比較して良い数値が出ており健全であることが分かります。今後においては、管渠の老朽化が進んでいくことから、維持管理修繕工事等の事業費が増加してまいります。修繕計画に基づく費用、それらの財源（使用料、起債等）や、起債残高等のバランスを見ながら、下水道の目的である水質保全のため、計画的に下水道の維持管理を行ってまいります。そして、収入の多くに一般会計からの繰入金に頼っていることから、引き続き加入促進活動を行い、下水道接続率を上げて、使用料の収益増を図り、繰入金の軽減に取り組んでまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。